

授 業 科目名	近代思想史Ⅰ	選 択	開講年次	1	単位数	2
科目区分	基本科目／教科に関する科目（公民・社会）					
サブ タイトル	思想史概論Ⅰ	担当者	波多野 知子			
講義概要	<p>【概要】 思想史を学ぶことの意味とは何か。哲学固有の問いとは何を対象とし、どのような仕方で問うものなのか。哲学の始まりが興った古代ギリシアの哲学者たちを概観することにより、哲学的思考の原型を取り出す。</p> <p>【到達目標】 哲学の問いと思考法を理解し確認することにより、近代思想の諸問題を考える基礎力を養う。</p>					
履修条件	私語をしないこと。					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】 プリント配布。</p> <p>【参考書】 授業時に指示する。</p>					
授業回数	内容					
1	イントロダクション					
2	「思想」と「哲学」					
3	哲学の始まり					
4	タレス、アナクシマンドロス、アナクシメネス					
5	ピュタゴラス・クセノパネス・ヘラクレイトス					
6	パルメニデス・エンペドクレス・アナクサゴラス					
7	デモクリトス・ソフィストたち					
8	プラトン					
9	プラトン					
10	プラトン					
11	アリストテレス					
12	アリストテレス					
13	アリストテレス					
14	ヘレニズム期の哲学					
15	ローマ帝政期の哲学					
評価方法	(1) 出席状況 (2) レスポンス・ペーパー (3) 学期末試験					
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者には「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	受講生の関心や理解度に応じて進められるので、必ずしもシラバスどおりに進行するとは限らない。					